令和２年第３回定例会一般質問通告事項

6月18日	岡野長寿議員（日本共産党）	質問方式：一問一答方式
	１　コロナ危機に対する尾道市の対応はどうだったのか（第２波に備えて、教訓を明らかにする） （1）　一刻も早い対応を求めるが、どのようにスピードを早めるか （2）　今後同じような危機に陥った際、国や県の施策に先立ってやるべきことはやるという教訓を導き出すか ２　今後の感染症対策について （1）　コロナ検査を受けたのは何人か、何人が陽性、何人が陰性だったか （2）　今後の市内の検査体制はどうなるか。市内１か所で充分なのか （3）　自分がコロナに感染しているのではないかと不安を感じて市内の保健所に電話した人は何人いたか。そのうち何人が納得のいく説明を受けたか （4）　今後の感染症対応について保健所が市内に１か所ではパンクするのではないか。住民の生活圏域に（かつてあったように）保健所の増設を求めるべきではないか ３　市内の事業者の状況、市の対策について （1）　国の持続化給付金の対象となる 50％以上売り上げが減少した事業者は何社で、そのうち何社が救済されたか （2）　県の協力金を受給できた事業者は何社だったか （3）　市の独自施策は何社を対象としているか。それは市内業者の何％か （4）　市内限定の商品券発行についての要望にどう応えるか ４　医療・保健体制の充実について （1）　保健所の増設など、医療保健体制の抜本的拡充を図ることを国や県に求めるか （2）　市として、どういう対策をとるか （3）　因島総合病院では廃止されるまでの１年間夜間の受け入れ患者は何人だったか。因島総合病院を利用できない人は、どこを利用したか （4）　市民病院まで来ると１時間程度かかるが仕方がないという認識か （5）　因島総合病院の夜間受け入れの再開についてどう考えるか	

6 月 18 日	5　地域循環型社会に向けた産業政策について （1）　地産地消を社会の土台において、地域の農業、生業をしっかり支えていく、地域循環型社会の構築に、地域農業の振興を市政の産業政策の柱として位置付けるべきではないか 6　今後の教育制度の在り方（30 人以下学級を目指して）について （1）　20 人～30 人程度のクラス編成で、ゆとりのある教室運営を恒常化することがこれからの未来の教育の在り方ではないか。その認識はどうか。その認識に伴う行動をどうとるか